代表質疑

9月6日の本会議で、各交渉会派（所属議員3人以上の会派）の代表者6人が平成30年度決算について質疑を行いました。要旨は次のとおりです。

三鷹の未来のために持続可能な自治体経営を

自由民主クラブ　宍戸　治重　幹事長

議員　市民の安全安心を守るため市庁舎・議場棟等の建て替えは必須だ。平成30年度の取り組みを伺う。

市長　当該年度は建物の配置計画を検討するための市民ワークショップや職員意見交換会等を実施した。

議員　三鷹駅南口中央通り東地区再開発に係る協議会での議論の内容等と第一種市街地再開発事業が地権者との合意形成に時間を要し都市計画手続きに至らなかった理由等について伺う。

まちづくり総合調整担当部長　当該協議会では先進事例の視察等を行うとともに施設計画等に関して検討を深めてきた。地権者との合意形成については、都市計画決定後は後戻りできないため権利者の意向等聞きながら丁寧に進めている。

議員　統計データ等客観的根拠に基づく政策形成能力の向上が必要だ。市職員の人材育成について伺う。

市長　専門研修を実施し能力の開発に努めている。今後も研修内容の改善等を図り行政課題を的確に解決できる人財の育成に努める。

議員　本市におけるデジタル・ガバメント等に係る考え方と施策の展開を伺う。

市長　行政サービスのデジタル化は今後取り組むべき重要なテーマと認識する。本市でのデジタル化をどのように進めるべきかという視点を持ってしっかりと現実的な展開を進めていく。

〈その他の質問〉コミュニティ創生／ライフ・ワーク・バランスについてなど

市民サービスの向上と暮らしに寄り添う市政運営を

公明党　赤松　大一　副幹事長

議員　医療的ケア児を健常児と同じように保育園で受け入れられる体制を早急に構築すべきだ。所見を伺う。

市長　保育園の体制整備、保育士の知識や技術の向上等に努め、受け入れについて更に検討を進めたい。

議員　昨年度は、平成29年度に実施した防災関係機関連携訓練を通し、連携のあり方等を検証して体制強化につなげるとしていた。訓練結果をどう生かしたか。

副市長　関係機関等からの課題等を踏まえ、元気創造プラザ等の災害時機能転換マニュアルを策定した。今後も様々な状況に対応できるよう検証結果などを事業継続計画等に反映したい。

議員　産後に育児困難に陥る可能性が高い妊婦に対し、産後ケア事業ゆりかごプラスを開始したが、取り組み状況と課題を伺う。

健康福祉部長　安心して地域で子育てができる環境整備を図った。課題は受け入れ体制の拡充だ。更なる拡充と新たなニーズに対応した事業検討が必要である。

議員　三鷹版働き方改革応援プロジェクトの取り組みにより、企業等が自主的に改革を推進できるような仕組みは構築できたか。

企画部調整担当部長　これまでは市が積極的な支援を行うことで進めてきた。今後は企業等が自主的に行う働き方改革を進めたい。

〈その他の質問〉学校施設の長寿命化／コミュニティ創生／買い物環境整備／待機児童解消についてなど

市民に寄り添い市民の声を反映した市政運営を

民主緑風会　谷口　敏也　幹事長

議員　昨年度、市は市庁舎等建て替えのワークショップを開催し市民意見収集に取り組んだ。市民からの意見に対する所見を伺う。

市長　多世代の幅広い意見が収集できた。建て替えをするにせよ、リニューアルをするにせよ、大切に受け止め対応していきたい。

議員　建て替えの現状について、ワークショップ参加者や市民に対し、より丁寧な説明が必要ではないか。

大沢の里古民家の内部

市長　参加者には、建て替えは一旦立ち止まり、事業の枠組み全体を再調整する旨の手紙を送付した。今後、市民全体にも周知したい。

議員　旧環境センター跡地はいずれ土壌改良等が必要だ。この費用は資産除去債務として認識すべきだ。

企画部長　総務省のマニュアルでそのような考え方が示されておらず、資産除去債務として扱っていない。

議員　妊娠期から切れ目ない支援を行っているが、それぞれの場面で対応者が変わる。誰一人漏らさずに切れ目なく支援できているか検証すべきだ。所見を伺う。

市長　今後も更なる切れ目ない支援の充実に努める。

議員　大沢の里古民家と水車経営農家の2施設が協力した連携事業を拡充すべきだ。昨年度の実績を伺う。

スポーツと文化部長　2つの施設を回遊してもらうよう来館者に紹介し、歴史講座等の連携事業も行った。

〈その他の質問〉元気創造プラザ／小・中一貫教育／孤立化防止についてなど

市民の声をしっかりと受け止め市政に反映させよ

日本共産党　栗原けんじ　副幹事長

議員　決算年度では、近い将来市庁舎・議場棟等の建て替えが必要と考えられていたが、6月議会で計画の見直しが示された。認識の変化について伺う。

市長　まずは市民の理解を得るために客観的な情報を示す必要があると考え、劣化診断等を行い、学校施設等も含め公共施設のあり方を横断的に調整していく。

議員　保育所待機児童は解消に至っていない。更なる保育所増設が求められるが、決算年度の取り組みの評価を伺う。

子ども政策部長　保育所新設により一定の効果はあった。引き続き、待機児童の大半を占めるゼロから2歳児への対策が必要と考える。

議員　子育て支援ニーズ調査、子育てに関する生活実態調査が実施された。課題分析、認識について伺う。

子ども政策部長　子どもの貧困対策の視点を持って分析している。子どもや保護者の病気や障がい、生活習慣や学習支援など包括的な対策が求められている。

議員　特別養護老人ホームどんぐり山の廃止により、利用料金の負担の軽い多床室が減少する。多床室確保の取り組みを伺う。

健康福祉部調整担当部長　特養の整備にあたり、多床室設置の義務等はない。市民向けの多床型ベッド320床は引き続き確保していく。

〈その他の質問〉国民健康保険税等の一斉値上げ／元気創造プラザへの苦情・要望についてなど

市民参加の原点に戻り命を支える施策を

いのちが大事　野村　羊子　副幹事長

議員　当該決算年度は市庁舎・議場棟等の建て替えに向けた市民によるワークショップや職員の意見交換会等が実施された。内容については今後の検討材料に使用するのか。所見を伺う。

市長　将来の建て替えの参考にする。調査結果を基にした最終的な判断に注目が集まるので、意見を聞きながら情報公開に努める。

議員　三鷹中央防災公園・元気創造プラザは、本来開設当初に整備すべきことが十分にできず、改修せざるを得ない状況があるが、どう対処するか伺う。

市長　建設前の市民参加は従来の体育施設の利用団体を中心に意見を聞いていた。クレームは事前に集約していなかった意見として受け止め、前向きに対応し素晴らしい施設にする。

議員　東西の多世代交流センターについて、当初厚生委員会に示されたリニューアルについての考え方と総務委員会に示された工事内容が違っていた。計画等が変更された際、所管の委員会に報告すべきではなかったのか。総括を伺う。

市庁舎・議場棟等の建て替えに向けた市民によるワークショップの様子

子ども政策部長　基本的なコンセプトを守りながら工事を実施した。今後も限られた予算等の中で最大限の努力をしていく。対応について不足した部分は反省すべき点と考えている。

〈その他の質問〉財政力指数／特別養護老人ホームどんぐり山廃止／地球温暖化対策実行計画（第4期計画）策定についてなど

安心して住み続けられるまちづくりを

令和山桜会　後藤　貴光　幹事長

議員　行財政改革を推進し確固たる行財政基盤の確立のための取り組みを伺う。

市長　市債等の繰り上げ償還により将来負担の軽減を図り、健全化判断比率が前年度を下回るなど財政基盤の強化につながった。

議員　債権管理条例の施行元年で、税の公平性から債権放棄等の抑制や、周知・支援にどう取り組んだか。

企画部長　実務者向け説明会、事務処理の平準化等を図り、福祉的配慮も行い収入未済額は減となった。

議員　コミュニティ創生に関する調査研究の成果と今後の取り組みを伺う。

市長　町会等の高齢化や担い手不足等が確認され、町会等への加入促進の支援に取り組んだ。支援に向けた新たな仕組みや組織づくりも調査し、基本計画改定でも位置付けて取り組む。

議員　教員のライフ・ワーク・バランス推進等による教育環境等の改善を伺う。

教育長　教員の意識改革、部活動の適正化、専門スタッフ等の導入により、教員の本来の業務に集中できる環境整備が進んでいる。

議員　重度障がい者の家庭へ看護師を派遣するレスパイト事業は、利用者は5人だが回数は延べ34回と需要が高い。利用者数が少なかったことについて伺う。

健康福祉部長　対象家庭へ訪問し説明したが、今後も周知と利用促進に努める。

〈その他の質問〉子ども・子育て支援／健康長寿社会／駅前再開発についてなど